海と船の企画展「～海ではじまり、海でつながる～交流展」報告書

事業内容：

　ジョン万次郎について資料館の展示を見ながら、ガイドに説明を受け、ジョン万次郎の功績を認識してもらった。現在ではあまり馴染みのない帆船については万次郎が活躍した時代前後の帆船模型の展示（13隻）を行い、帆船の役割や万次郎と帆船の関係について紹介して、新たな知識として資料館を訪れる人に喜ばれる展示となった。

又、子供達にジョン万次郎を知ってもらうためにジョン万フィギュア塗装体験教室を行った。

「帆船を体験」するために「帆船あこがれ」の体験乗船を実施し、セイルトレーニングなどを体験しながら船や海のすばらしさ、楽しさを実感してもらった。

事業目標の達成状況：

企画展開催時（7月14日～10月28日）の企画展（ジョン万次郎資料館）入館者数は当初目標の3,500名を上回る、4,756名となった。

ジョン万フィギュア塗装体験参加者は16名。

7月22日、7月29日、8月5日、8月19日、8月25日と募集をかけたが7月29日に体験者が2名であとは申込がなかった。10月27日がジョン万まつりでイベントを行うので、この時に周知しなおして行うことにした。10月27日の参加者は14名。ジョン万次郎を知ってもらいたかったので資料館に入館した人を対象にしたが、入館者のほとんどが観光客なので、余分な時間がなく、体験時間も当初予定より意外とかかる（1時間半前後）為、なかなか体験してもらえなかった。指導は高校生のアルバイトと土佐清水市観光協会の職員で行った。

資料館館内の説明は観光ボランティア会と土佐清水市観光協会の職員で行った。

館内をひととおり案内すると30～40分かかるので、その時々で説明がポイントだけとか全体的にとか様々であったが熱心に説明を聞かれる方が多かった。

又、ジョン万次郎について詳しい人（マニア）が思った以上に多く、当方の職員ももっと情報を集めて勉強しなければいけないと痛感させられた。

帆船「あこがれ」体験乗船者は60名の定員に対して参加者は20名であった。テレビ高知で企画展と帆船あこがれの体験乗船募集のCMを9月12日から9月18日まで行った。なかなか集客できなかったので子供を無料にして市内の全小中学校、高校にも連絡をし、参加者を募ったが、集客にはつながらなかった。

企画展の経費では10月27日の実施だけで10月28日はセイル大阪（帆船あこがれの会社）が体験乗船する予定であったが、集客できず、10月28日は取りやめとなった。

集客できない理由として人口が少ないのと乗船時間が6時間ぐらいと長いため、気楽に参加できるものではなかったようである。当方としては企画展の大きな目玉と考えていて、まさかこのような結果になるとは思わなかったので、非常に残念である。当日は雨でなかなかデッキに出れなかったようだが、雨の合間を見て、帆を張ったり、ロープワークをしたりして参加者からは楽しかったという感想が多く聞かれた。

帆船模型の展示は高知工科大学の草柳教授の手作りの模型を13隻展示することに協力して頂いて実現することができた。内、11隻はジョン万次郎資料館に寄贈される事となった。

又、ジョン万次郎が副船長に選ばれた時の帆船フランクリン号を現在制作中でこれが完成したら、資料館へ寄贈頂けることにもなっている。

この企画展を通じて、ジョン万次郎や過去の人々の知恵や功績が現在の自分たちの生活につながっている事を感じて頂けたのではないかと思う。ジョン万次郎の偉大さを感じる人が多くなったように思う。（来館者のノート書きより）又、手のこんだ帆船模型に見入るお客さんも多く、資料の充実を図ることができた。

　これまでのジョン万次郎資料館は土佐清水市の所有なので展示物も市の指導によって展示されていたが、今回の企画展を実施するにあたって、市はもちろんではあるが、委託運営をしている土佐清水市観光協会が展示について積極的に考える機会になったのと関係者の方達と知り合いになって、今後につながる話ができた事は大きな収穫であったと思う。今後はもっと入館者に感動を与えられるような展示を考えて、さらなる資料館の充実と職員の意識向上を図っていきたいと思っている。